

令和3年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立高西中学校	校長	濱本 かよみ	生徒指導主事	椿山 正人
-----	-----------	----	--------	--------	-------

取組事例名 『学級力向上プロジェクト』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「表現力」「コミュニケーション能力」	1	「主体性・協働性」	3	「自己理解・自己探求」	2

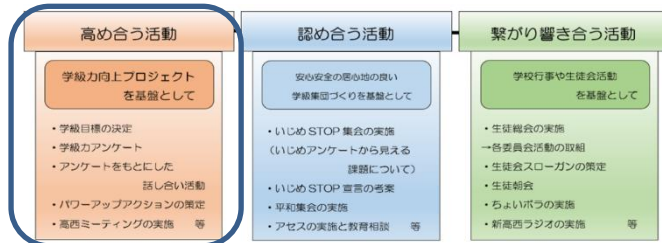
取組のねらい

生徒がセルフアセスメントをもとに学級経営に参画することで、集団の中でお互いの個性を認め合い、互いに高め合う中で、思いやりを持ち、自己実現を目指すための「志」(思いやり)を育成する。

取組の具体的内容

取組の創意工夫
『自己実現・社会参画・可視化・縦割りによるオンライン』

特別活動の3つの軸



学級力向上プロジェクト…生徒が学級経営に参画することによって、学級力を高め、学力向上につながる取組。合意形成と意思決定のための話し合い活動の設定し、その技法を習得させる。また、アセスとの関連を図り、より確かな生徒理解につなげる。

- ①学級力アンケートを実施し、所属するクラスの自己評価を行う。
- ②学級力レーダーチャートを基にして話し合い活動を行う。
- ③学級力向上のために生徒たちが主体的に取り組むパワーアップアクションを決定、実施する。
- ④縦割りによる取組交流(高西ミーティング)を行う。

※これらを1年間のRPDCAサイクルに沿って、意図的・計画的に実践していく。

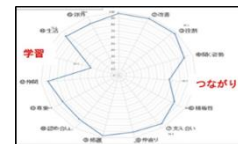
『自己実現』

1人ひとりの思いや願いをもとにそれぞれの学級で学級目標を決める。

『社会参画』

小短冊を使用して学級の一員として責任をもって話し合いに参加する。

『可視化』



『縦割りによるオンライン』

他学年に学ぶとともに校長先生から講評をいただくことで、価値付けをする。

取組の成果と課題

(成果)

- ①学級力アンケートをもとに生徒自身が学級の現状を数値で把握し、それをもとに話し合いを行い改善する「学級のカリマネ」の推進の基盤となった。
- ②行事と関連付けることにより「学級力」に視点を置いて取組を進めることができた。
- ③学級力アンケートを実施したことで、所属するクラスを生徒が客観的にとらえることができ、根拠ある課題を見つけることができた。
- ④話し合い活動を行うことで、自治的風土の高まりが見られた。
- ⑤継続して取り組んだことで、目的意識を持って話し合い活動やパワーアップアクションの活動に取り組むことができた。
- ⑥縦割りで共有することで、学校全体で取り組む風土づくりにもつながっている。

(課題)

策定したパワーアップアクションの実施が不十分であった。アンケート結果をもとに課題を改善するための方策案については今後検討が必要である。